

ときがわカンパニー通信

第89号

2025年9月9日発行
(2025年9月21日配布予定)

カラー版 | 特別号



はじめに

ときがわカンパニー（同）代表の、関根雅泰です。

月1～2回の頻度で、この「ときがわカンパニー通信」を発行し、活動の様子を、皆さんと共有できたらと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

左の写真は、ときがわ町役場本庁舎前にある「ときがわ町起業支援施設 ioffice」です。

ときがわカンパニー合同会社がやっていること

ときがわカンパニー合同会社は、2016年1月に設立されました。

設立目的は、「ときがわ町に、人が集まり、仕事が生まれる」状態を創ることです。そのために、「仕事を自ら創り出せる」ミニ起業家を支援し、彼らが活躍する事で、ときがわ町や近隣地域に、どんどん新たな仕事が生み出され、人が集まつくるような状態を創れればと考えています。皆さんのご支援よろしくお願ひします。



比企起業大学 25春「8月ゼミ」を開講しました



2025年8月22日（金）18時～20時、比企起業大学25春「8月ゼミ」を開講しました。講師陣、学部生との意見交換の場です。今回は、前回からのBS（ペイビーステップ）とその結果報告などを紹介いたします。

●24秋生の美里さんから、25春生へ一言
交流会から5か月。Slackの中でやり取りさせてもらってきた。最初のスタート地点から、BSを一步一步進んでいく様子が、刺激になった。自分も24秋の卒業なので、まだ雛のような感じ。皆さんの頑張りに刺激を受けた。比企大の仲間ができる良さ。交流会でもお会いしたい。（美里さんは、25春生のワークシートを熟読し、コメントを下さっていました。励された25春生も多かったはず。ありがとうございました）

●たなかつさん <ペイビーステップ（BS）>
①ガラス彫刻のワークショップ2回目を計画する。②次回のマルシェ出展に向けて、フロントエンド商品を企画し、製作する。

▶①1回目が好評で、間をあけずに8月23日に鳩山マルシェで行う予定。前回3名、今回はちょっと人数が増える。前回参加者は、更に熱心になっている。もっとじっくり彫り込む

25春生の
卒業レポートはこちら▶



タイミングした。プロトタイプを提供予定。

●小原さん <BS>

①現在の絵本読者の傾向を調べる
②図書館や出版関係の資料（年鑑）などを調べたり、書店でマーケティングする

▶BS、忘れてしまっていた。

絵本は、出版件数が増えている。紙芝居も一定数は発行されている。地元の民話や出来事を、シニアの人がストーリーを考えて作っている。狭山市では、小学校で紙芝居のイベントを実施している。語呂合わせ・リズム・オノマトペなど、ストーリーだけでなく、リズミカルな場面がある。ストーリー、絵本の在り方については、大学の先生に教わった。25日にあいかさんと、30日には美大の先輩と会う。アオバズクのひなが穴から顔を出している絵を描き、撮影者へのお礼にする。

●ヒロさん <BS>

①8/29の課長職研修の準備に万全を期す
②高校生にコーチングを届ける授業の構想の具体化を目指す

▶①ベテラン課長さん向け研修で、10名参加予定。教材も印刷済み。現場でチームを率いるヒントを提供できたら。②代表者に提案をしてきた。9月にも提案を持っていく。12月に高校の先生に説明する機会を作れそう。都に提出後、来年度の事業に。NPO法人の代表が乗り気。事業としては、お金にならないが、フロントエンド商品として「良かったんだ、他にない？」と言われる状態にしたい。

- 発行: ときがわカンパニー合同会社 文責: 関根雅泰（せきねまさひろ）
- 住所: 〒355-0343 埼玉県比企郡ときがわ町五明 1083-1
- 電話・FAX: 0493-65-5700（すみません、外出が多い為、留守電にメッセージをお残し頂ければ、こちらからお電話します）
- メール: m.sekine@learn-well.com（メールの方が連絡が取りやすく、ありがとうございます）
- URL: <https://tokigawa-company.com/>

第77回マナビバ！本屋ときがわ町v.3を開催しました

ときがわカンパニー代表の関根です。2025年8月17日（日）第77回「本屋ときがわ町」を開催しました。

土曜日午後、翌日の本屋に向けて、iofficeの掃除をしなくちゃな～と思いながら、暑いし正直、面倒くさい。「明日やればいいかな～」と思ったけれど、次男に「バイト代払うから」と誘ったら、「父ちゃんが、やる気ないなら、手伝うよ」とってくれた。「よっしゃ！30分、集中してやろう！」ということで、一緒に掃除、モップ掛け、机準備までできた。ありがとう！！一人じゃ絶対無理だったよ。



午前は、風間さんによるブックカフェ「実は私、○○が好きなんです」を開催。

9時過ぎ、iofficeに行ったら、風間さん、ユカさん、A君が来てくれていました。皆で開店準備。暑さでバテううなので、A君と近くの前澤屋さんに「くずバー」を買いました。マンゴー、ショコミント、カルピス、私は塩レモン。

口触りが良くて、美味しいくて、身体も冷えました。

10時オープン。山崎師匠@小川町が来てくれました。「町おこし」や「AI」について教えてもらい、「モノを作るAIが人気」「分かり易さを求めすぎて、がつり学ぼうとする人が少ない」という話は特に興味深かったです。

出店者紹介 ① Full本屋&トキノキオク舎 風間さんご夫妻。いつもの雑本と、子供が好きな絵本もあるそうです。②小麦の奴隸 ときがわ町店さんによる美味しいパンの販売。

浅沼さん（比企大22秋・比企院8期）が来てくれました！ありがとうございます！西澤さん@ときがわ町が来てくれました。NHKの大河

ドラマ「べらぼう」で話題の、鳴屋重三郎の貴重な本を持って来てくださいました。触ると崩れそうな感じで、凄いです！一気に江戸時代に飛んだ感じです。

11時、ブックカフェ（ゆるい読書会）「実は私、○○が好きなんです」 by カザマスター（風間

さん）がスタート！「実は偏愛しているものがある。好きなジャンルの本について楽しく語り合いましょう！」という会。今回のトップバッターは、私、関根から。最近ずっとはまっていた「歩く」本と、福岡空港からの帰路に読んだ「アマテラスの暗号」を紹介。

2番手は、浅沼さん。「空想科学読本」を紹介。一時期、ご家族ではまったくそうでした。アンパンマンの「アンパンチは不可能」という話を読んだ時、娘さんはショックを受けたそう。風間さんも読んだそうで「ゴジラの足はもっと太くないと」という話がずっと印象に残っています。本の内容、気になりますね！

昼に小麦の奴隸 ときがわ町店の葛西さんが来てくれました。「夏のおすすめは、初恋 レモンクリームパン」だそうで、葛西さんが本も購入してくれました。



3番手は、山崎師匠。以前、平凡社に勤めていて、辞書も出版していた。百科事典があるかどうかで、総合出版社であるかどうかが決まる。辞書の中でも、はまつたのがこの1冊「原色陶器大辞典」。「自分が調べた項目の前後を読むと、辞書は更に面白くなる」そうです。（編者付記：最近、「三浦しをん」さんの本「舟を編む」をドラマ化した、辞書編集部のTV番組も放映されていましたね。）

4番手、ユカさんの本「目でみる民俗学」。「あいまいさ、グレー、不安定な時間や空間に、心惹かれます」とのこと。

ラストの風間さんは「ほしいも学校」など、食についての5冊。「食」は学際的で、色々な視点から考えられて好き。きっかけは、幼少期に読んだ「美味しいんば」とのこと。

12時頃、N君とお母さんが来てくれました。紙芝居を読んでほしくて図書館から借りてきました。成長して紙芝居も集中して聞いてくれました。ほんと嬉しいですね。「紙芝居のおじさん」と思ってくれているのかも。ありがとうございます！！また来てね。金井さん（比企大23秋）が、お子さん連れで来てくれました。

13時過ぎ、「ときがわカヌー工房」の福田さんが来て下さいました！通信も読んでいて、あいかさん（比企大23春）も、たまにカフェに来てくれるよ！とのこと。創業時のお話や、ときがわ町に

来てからのお話を伺いました。感謝！

14時50分頃、よしきさん（比企大21秋・比企院6期）が来てくださいました。最初、マスクとサングラスをかけていたので警戒しましたが、よしきさんでした～。「このために来たんですよ」と、嬉しいお言葉！よしきさんを始め、皆で片付けたら、5分で終わりました。山崎師匠、お忙しい中、長時間ご参加頂きありがとうございました！

ユカさんが「TC通信、来年の今頃には100号ですね。コツコツ続けるのって大事ですね」と言ってくれました。続けてこられたのは、編集の福島さん（1代目）、コニー（2代目）、ユカさん（3代目）、あいかさん（4代目）、配達してくれる新聞店の方々、読んでくれてる地域の皆さんのおかげです。

福田さんからは、「始めてどのくらいになるの？」と訊かれ、思い返すと、ときがわカンパニーは2016年1月設立なので、今年で10年目でした。長かったような、あつという間のようだ。これからも「ときがわ町に、人が集まり仕事が生まれる」状態を創るために、仲間と共に進んでいきます。





比企起業大学「応援団員25」募集を始めます

ときがわカンパニー代表の関根です。2025年8月23日(日)大黒天の日、比企起業大学「応援団員25」募集を開始します。設立100年後の2117年(あと92年後)に、学校(比企起業大学)が残っているためには、「①箱(建物)」「②本(教科書)」「③人(学習者)」が必要です。

◀ 参考記事：比企起業大学が、100年続くために…

その一つ「①箱(建物)」として「まるキャン看板(ときがわ材の丸太看板)」を、比企ら辺に20年かけて、20本立てていきます。20年後の2044年には「式年遷宮」のように、1本目から、また建て替えをしていく予定です。20本の「丸太看板」が、2117年にも立ち並んでいて、かつ「③人(学習者)」が「②本(教科書)」を使って、比企での起業について学び続けてていければ、約100年後の人たちも「ここに比企起業大学がある!」と思ってくれることでしょう。

昨年(2024年)お陰様で、最初の1本目が、ときがわ町の田中の交差点に、建ちました! 今年(2025年)「2本目」の丸太看板を、今度は、鳩山町の某所に、建てます!

…………… 今後の予定 ……………

8月23日(土) 「応援団チケット(NFT)」の販売開始
0:00- 開始しました (**9月23日(火)23:30**で販売終了)

9月14日(日) まるキャン「説明会」

10:00-11:00 鳩山コミュニティマルシェにて

9月21日(日) まるキャン「説明会」

10:30-11:30 本屋ときがわ町(ときがわ町起業支援施設 ioffice)にて

11月8日(土) まるキャン「伐採祭り」の実施

10:00-16:00 ときがわ町の山で、3本めの看板に使う木を切り倒す

12月13日(土) まるキャン「ほりほり祭り」の実施

9:30-12:00 丸太看板に彫刻刀で、文字を彫る

2026年3月14日(土) まるキャン「わっしょい祭り」の実施

終日 山伏さんに祈祷してもらった後、看板を建てる
「ミニ起業家フェス」@鳩山コミュニティマルシェと共同開催

一本、80万円程かかる予定なので、私達も、もちろんお金を出していくますが、皆さん方に、「応援団チケット(一口1万円)」をご購入いただき、お力添え頂けましたら、大変助かります。



編集後記

ときがわ町の農家さんから苗を2株譲り受け、今年初めて、白なすを畑に植えました。写真は、猛暑日続きで草むらになった畑に、ひっそりただずんでいた、我が家の白なです。

油と相性が良くて、油で焼くと、トロンとして醤油だけで充分でした。カレーなどの香りの強い料理に入れると、もったいないって思いがちですが、なすそのものの旨味が溶け込んで、ルーが格別の味になりました! カレー好きの方にはオススメです。

最近は、白なす、緑なす、しましまのゼブラなすも、目にすることが増えました。形も、色々

です。元々、日本各地で作られていた在来種のなすが地域外に出回り、広まつたことで、こんなにも多種類あったことに気づかされました!

「夢や思いを形にする本」をお作りしております。集めているもの・創り続けた作品を「本」に、遠くのご家族の記念日に贈る「本」など、多様なご依頼をいただいております。ご相談は、下記QRコードを読み込んでいただき、WEBのお問い合わせフォームから、お待ちしております。
<そらとときの本・藤原あいか>

紹介・お問合せ先 ▶



◆◆◆◆◆ 応援団員になることで… ◆◆◆◆◆

- 100年後に残る事業に参画して頂くことになります。比企起業大学の現メンバーが、皆さんに感謝するのはもちろんですが、孫の更に孫世代が、先人である皆さんの行動に感謝してくれると思います。(比企ら辺は、比企起業大学がある町として注目され、国内外から視察団が訪れる地になっていると思います。それによって、孫の孫世代にも新たな仕事機会が作られているかもしれません。)
- 応援団員チケット購入者のお名前は、NFT(ブロックチェーン技術)で、半永久的に残ります。
- 「ときがわカンパニー通信」(4,800部配布)に、1回、お名前が掲載されます。
- 事業をされている「個人事業主」や「法人企業」の方々は、複数口のご購入により、「広告宣伝プラン」(下記に説明あり)も活用できます。

◆◆◆◆◆ 広告宣伝プラン内容 ◆◆◆◆◆

- 1 応援団チケットをご購入頂いた時点で、NFTとして、お名前(会社名、本人名)が半永久的に残る。
- 2 ブログ記事への掲載(25年9月~看板が残り続ける限り)
 - ①比企大へのメッセージ
(応援団員となった理由、比企大への期待等)
 - ②お客様、地域の方々へのメッセージ
(自社が特に頑張っている点、お役に立てそうな点等)
 - ③自社へのリンク(ウェブサイト、SNS情報等)
 - *メッセージの執筆は、お申込みフォームにお願いします。
- 3 「ときがわカンパニー通信」への掲載(25年9月~26年3月のどこかで1回掲載し、4,800部配布)
- 4 「まるキャン看板」背面のプレートに刻まれたQRコードから、2のブログ記事へのリンク(26年1月~看板が残り続ける限り)

◆◆◆◆◆ 応援団チケットの購入(A.B.いずれか) ◆◆◆◆◆

- HEXAで、一口1万円からのNFTとして、ご本人が、クレジットカードで購入。(Xのアカウントが必要)
- ご本人が、ときがわカンパニーの口座に現金振込。その後、比企大事務局(関根)が、購入者の氏名で、HEXAで代理購入。

◆ 埼玉りそな銀行 小川支店
普通 4006110 トキガワカンパニー(ド

◆ 埼玉県信用金庫 都幾川支店
普通 8201302 トキガワカンパニー(ド

皆さまの温かい応援金は、責任を持って適切に管理し、「まるキャン看板」づくりの趣旨に沿って、有効に活用させていただきます。

◆◆◆◆◆ 応援団チケットの種類 ◆◆◆◆◆

- | | |
|---------------|--------------------------------------|
| 1 一般団員 | 1口 10,000円 |
| 2 個人団員 | 1口 30,000円
(広告可能)(比企大関係者 20,000円) |
| 3 法人団員 | 1口 50,000円
(広告可能)(比企大関係者 30,000円) |

「応援団チケット」の販売は、
9月23日(火)23:30までの1か月間です。



お申込みは、上記のQRコードを読み込んで
お申し込みフォームからお願ひいたします。

比企ら辺まるごとキャンパス化計画は、皆さんのお力を借りながら、実現させたいと願っています。ぜひ!比企起業大学の「応援団員」になって下さい。よろしくお願ひ致します。



まるキャン2本目「丸太看板」

設置候補地の現地確認をしてきました

術で半永久的に残す「NFTチケット」の作成に関わってもらっています。

鳩山町某所に、まるキャン2本目の「丸太看板」を建てができるのか? 候補地の方々、風間さん、何卒よろしくお願いします!



2025年8月21日(木)14時頃、鳩山町某所

で、まるキャン2本目「丸太看板」設置候補地の現地確認をしてきました。比企大学長の風間さんが、候補地の方々と話を進めて下さっています。ただ、まだ確定していないので、場所がどこかは、公表できません。

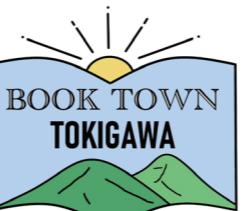
山なおさん(比企院3期)が、看板を建てる位置を、色々検討してくれています。山なおさんと打ち合わせ予定があった金井さん(比企大23秋)も来てくれました。金井さんには、応援団員の方々の名前を、ブロックチェーン技

まるキャン2本目に向けての「呑み会議」@鳩山エニー

オーダンスを入れこむ、等、色々アイデアが出てきました。設置場所もほぼ確定し、動いていこうです。(土地の方とやり取りして下さっている風間学長に感謝です) トヨさん、菅沼さん、山なおさん、ありがとうございました。比企つづきよろしくお願いします。



第78回 マナビバ! 本屋ときがわ町 version3



2025年9月21日(日) 10:00-15:00 ときがわ町役場前 起業支援施設 ioffice にて

出店やイベントの企画は随時募集中! ●フード(ランチ提供) ●個店出店 ●講座、ワークショップ(午前・午後)

出店料: 比企起業大学関係者1日550円・半日330円 それ以外の方1日1,100円、半日660円

イベント(ワークショップ)を開催される場合は、出店料+550円いただきます。

メールでお気軽にお問い合わせください。 E-mail : kazaman1157@gmail.com



「まるキャン25」説明会を2ヶ所で開催します! お申込み 不要 参加費 無料

- 2025年9月14日(日) 10:00-11:30 鳩山町コミュニティマルシェ1階セミナールーム
- 2025年9月21日(日) 13:15-14:30 本屋ときがわ町 ioffice

(21日午前の本屋はブックカフェを開催▶ テーマ:『私がこだわっていること』に関する本)

Q: まるキャンとは? Q: 何故「丸太看板」を?? Q: 比企ら辺の未来はどうなるのか???

2年目となる今回は、鳩山町と、ときがわ町、2ヶ所で説明会を行います。ご興味ある方はぜひご来場ください!

ときがわ町起業支援施設 iofficeでの「有料起業相談」のお申込みについて

「ときがわカンパニー」のブログに、「起業相談用:代表 関根の大まかなスケジュール」が出ています。そちらをご確認の上、「フォーム」からお申込みください。24時間、365日いつでもお問合せ可能です。

1回1時間で料金は3,300円、比企起業大学関係者・ときがわ町民は1,100円を頂戴いたします。



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です